

4月19日（土） 令和7年度春季リーグ戦第3節1回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
阪公大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
和歌大	0	0	1	0	0	0	3	0	X	4

大阪公立大学(3塁側)

対

和歌山大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校		打数	安打数	打点
1	中	根来	3	府立生野		3	1	0
2	遊	疋田	4	広島新庄		2	0	0
3	右	前田	3	須磨学園		4	1	1
4	指	菱田	2	関西大倉		4	0	0
5	左	林	2	大阪明星		4	1	0
6	三	田中創	3	金沢桜丘		2	0	0
	三	寺本	3	鳥取西		0	0	0
	打	京橋	4	清教学園		1	0	0
7	一	大西	4	長田		2	0	0
8	二	樋口	4	刈谷		4	1	0
9	捕	小田竜	4	県立伊丹		3	0	0
投		片山	3	府立池田		-	-	-
		宮田	2	倉敷青陵		-	-	-
		山本	3	清教学園		-	-	-
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	5	4	2	1	1	29	4	1

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校		打数	安打数	打点
1	二遊	伊東	4	星林		4	1	0
2	左	橋本	2	水口東		3	1	1
3	右	田中文	4	明豊		4	1	2
4	指	熊埜御堂	4	小倉		3	0	0
	走	松井	4	向陽		0	0	0
	打指	船越	2	履正社		1	0	0
5	中	小澤	4	神港学園		3	1	0
6	一	溝口	4	知立東		3	0	0
	打三	佐藤	3	札幌国際情報		0	0	0
7	三一	木村	4	桐蔭		2	0	0
8	遊	澤田	1	広陵		3	2	1
	走二	藤木	2	九州国際大学付属		1	0	0
9	捕	田中慎	4	東播磨		2	0	0
投		田中輝	4	向陽		-	-	-
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	6	2	0	0	29	6	4

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
片山	6 1/3	108	30	23	6	3	5	4	4
宮田	2/3	25	4	3	0	1	1	0	0
山本	1	16	3	3	0	0	0	0	0
合計	8	149	37	29	6	4	6	4	4

【投手成績】

名 前	回 数	投 球 数	打 者 数	打 数	被 安 打	奪 三 振	四 死 球	失 点	自 責 点
田中輝	9	131	35	29	4	5	4	1	1
合計	9	131	35	29	4	5	4	1	1

【戦評】

いよいよ折り返しとなる第3節。なんとしてでも勝ち点を挙げるべく、まずは1勝することを目標に、チーム一丸となって挑みました。

初回、先頭の根来（経3・府立生野）が四球を選び出塁すると、続く疋田（工4・広島新庄）が見事にバントを決めます。次打者の前田（現3・須磨学園）はライト方向へ適時打を放ち、初回からいきなり1点を先制します。

本日先発の片山（生3・府立池田）は、初回到四球を与えるも、ランナーに進塁を許すことなく、しっかりと無失点に抑えます。

2回表、二死から樋口（工4・刈谷）が安打で出塁しますが、後続が絶たれ、得点には繋がりません。

その裏、2つの四球と暴投により、一死一三塁。そして、次打者の適時打で1点を返されます。なおも続くピンチで、送りバント・四球を許し、二死満塁とされますが、続く打者を三振に打ち取り、最少失点に抑えます。3～6回では、安打や死球、味方の失策がありながらも、片山は持ち前のピッチングを取り戻し、決して得点を与えません。

4回には、林（工2・大阪明星）の内野安打、田中創（法3・金沢桜丘）の送りバントで一死二塁。ここで大西（法4・長田）が四球を選ぶと、続く樋口は相手の失策を誘い、二死満塁のビッグチャンスをつくります。しかし、あと1本が出ず、惜しくも無得点に終わります。

阪公大打線は、5～7回を三者凡退に抑えられ、ランナーを出すこともできず、なかなか追加点を得られません。

7回裏、先頭打者に安打、続いて送りバントを決められます。一死二塁から、相手打線に連打を浴び一挙3点を奪われます。ここで、投手は宮田（工2・倉敷青陵）に交代します。失策がありながらも、満塁のピンチを無失点に切り抜けます。

8回表、先頭の1番根来は二塁打を放つと、続く疋田は四球を選び、無死一二塁。ここで追加点を獲得するチャンスを迎えますが、続く打者は三者連続でフライアウトとなり、相手のリードに追いつくことができません。

これ以上の失点は許したくない8回裏、宮田に代わり山本（文3・清教学園）がマウンドに上がります。山本は、安定した投球で三者凡退に抑える好投をみせ、攻撃への良い流れをつくります。

なんとしても追加点を得たい9回、大西が四球により出塁し、得点に繋げたいところでしたが、最後は併殺打に打ち取られ、試合終了。1－4で敗戦いたしました。